

越 生町で新規就農を目指し、「いるま地域明日の農業担い手育成塾」の2人の研修生が町内研修を行っています。今回、吉川親吾さん【大谷（久喜市から移住）と小林和樹さん【如意】（東京都新宿区から移住）のお2人に取材を行いました。

なぜ農業をはじめたんですか？

元々農業に興味がありましたが、大学卒業時には親の反対もあって農業ができませんでした。最近では昔よりも農業で稼げるような話が出てきたので思い切って就農を決めました。現在、大谷にある畑で季節の野菜を育てています。これから大根や人参を育てていこうと思っています。



▲新しい農機を使用する様子



▶放置して作る堆肥

どのような農業を目指していますか？

化学肥料や農薬を使わずに作物を育てます。街路樹や雑草はこれらを与えなくとも実をつけ育ちます。植物は本来その能力を備えています。畑の雑草や作物の残渣を積み上げて放置し雑草堆肥を作り、それを育苗培土などとして使うことで畑のものを畑に還す一つの循環を作っています。

以前、雑草堆肥を育苗に使った時、堆肥に入っていた昨年の作物の種が分解されていないことがありました。そのため播いていない作物の種が発芽してしまい、野菜の持つ生命力に驚かされました。

これから収穫した野菜はうめその梅の駅などにも販売していきますのでよろしく願っています。



新規就農研修生
吉川 親吾さん

越生町で新規就農を目指している研修生を紹介します

なぜ農業をはじめたんですか？

中 学生の時の夢は植物の研究で、植物の接木（植物の目や枝を切り取って他の木の茎につぐこと）が不思議で研究したいと思いました。しかし、農業高校時代の先生に「研究できる前に定年を迎える」と言われました。そのため農家で実験をしながら作物を作っていたらと思うています。現在、如意で季節の野菜を、津久根で梅の栽培を行っています。今後はバターナッツという「かぼちゃ」を作りたいと思っています。焼いても煮てもどんな調理をしてもおいしい品種です。

どのような農業を目指していますか？

梅園の木が古いので事業用に整備するのが大変です。私の目指す農業は化学肥料は全く使わず、農薬も最小限に抑え、堆肥（落葉や剪定枝のチップ）なども地域のもを活用して自作しています。

様々な方の協力のもと、手探りで農業を営んでいるので、応援よろしく願います。

越生町では、新規就農者を目指す方に、就農相談や農地の紹介、地元農業者の紹介など様々な支援を行っています。

新規就農をお考えの方は、越生町役場産業観光課農林担当までお問合せください。



新規就農研修生
小林 和樹さん



▲バターナッツ（画像）



**ココがおもしろい！
梅とともに生きるまち**

梅の収穫の季節には、農家さんのお手伝いを経験しました。この時期は農家さんのみならず、多くのご家庭が一緒に梅仕事をすると暮らしている習慣に驚きました。越生ならではの、梅と生きる文化を実感しました。梅の販売会も盛況で、お祭りのようなワクワク感を感じていました。私も見よう見まねで、はじめての梅仕事に挑戦。特産品としての今後の展開などを考える機会になりました。

**ココがカッコいい！
自然と過ごすライフスタイル**

越生に来て感じたのは、山や川の近さ。家族で川遊びやハイキングなど、自然と過ごすライフスタイルが定着していること、都会の人がうらやま価値だと思っています。ここに暮らしてきた皆さんにとってはごく日常なことかもしれませんが、今のココナ禍においては癒し効果



趣味になったハイキング

これからの活動について

現在、町の紹介冊子をつくる企画に取り組んでいます。取材やインタビューを通じて、町への理解をより深め、魅力を探っていきたいと思っています。また、その魅力を町外の人に伝えるPR活動にも取り組んでいきます。

越生はもっと「おもしろい」「カッコいい」と思ってもらえるような新しいイメージづくりを企画やデザインで実現していければと思います。



取材を行う永島さん



かなえる
https://www.instagram.com/ogose.kanai/
ogose.kanai/（ペンスタグラムページ）

はじめて「越生町地域おこし協力隊」です

み なさんは「地域おこし協力隊」をご存じでしょうか。「地域おこし協力隊」とは、地方自治体が都市地域から移住者を「地域おこし協力隊員」として任命し、様々な地域協力活動を行いながら、その地域への定住・定着を図る制度で、ここ越生町でも、今年1月から1名の隊員を新たに任命しています。今回、隊員として活動を開始した永島佳奈絵さんに、自己紹介を行いました。



越生町
地域おこし協力隊
永島 佳奈絵さん

自己紹介

はじめまして。今年度から地域おこし協力隊員として越生町で活動することになりました。永島佳奈絵と申します。

行田市出身です。前職で「オーパークおこせ」のリニューアル開発担当など経験したことをきつ

かけに、越生に縁を感じて、2021年2月に移住しました。地域おこし協力隊として、移住促進や観光の活性化に貢献します。

**ココがすごい！
地域のひとの手が生み出す**

花を植え、川辺をととのえ、イベントを行う。自分たちのフィールドは、自分たちでやろうという素晴らしい地域活動に感動しました。訪問した麦原地区では、どうすれば訪れた人に喜んでもらえるかという視点で、地域に住む人同士で考えたことが実行されておりました。手を貸しあい、感謝しあう。そんな地域のつながりの強さは、誇れることだと感じます。



▶①梅の収穫をお手伝いした黒澤農園にて ②梅の選果 ③初めての梅酒づくり